

My Favorite Life Style



美観ではなく、快適性を塗り替える。

JAXAの製品開発プロジェクトから誕生し、各種メディアを沸かせた「断熱セラミック」塗料の実力。



非常に高度な技術を応用した特殊塗料だけに、施工には専門的な技術と知識が必要。ジャパンテック神奈川は、メーカーから正式に提携施工店として認定されているので安心だ。

これからの夏に向かうこの時期。暑さが苦手な方は、また「猛暑日」の連呼が始まるのか...とウンザリしていることだろう。最近では室内で熱中症になったという話もあるので、今夏も帰宅後や就寝時は室温「コントロール」に気を付けよう。

さて、この階建ての住宅の場合、1階よりも2階の室温が高くなる傾向が多い。もちろん、太陽光を受ける屋根に近いからだが、屋根には私たちが思っている以上に熱による負担がかかっている。夏期の場合、日によつては70℃~80℃にも達するといつたから、暑くて当然。なるほど、エアコンの使用頻度がなかなか減らないわけだ。

最近では高気密・高断熱を謳う住宅商品も増えてきたので、新築する際にはまだ対処法もある。だが、既築の住宅、特に築年数が経っている住まいはどうすればいいの...というところで、建物のエクステリアに強力なエコ性能をプラスする方法がメディアで話題になっている。いわゆる「断熱塗料」だ。

屋根、そして外壁に特殊な成分を含む塗料を塗布し、家をすっぽりと覆う「保護膜」を作る塗料は、さまざまなメーカーから発売されている。中でもここ数年にわたってトップシェアを維持しているのが、あのJAXA宇宙航空研究開発機構のプロダクト開発プロジェクトから生まれたという断熱塗料「ガイナ」だ。肉眼では見えないビーズ状の「球体セラミック」が配合されており、これがプリズムの役割を果たすことで、太陽光の赤外線を繰り返し屈折反射。伝

動対流放射熱を防ぎながら、受けた熱を即座に反射することで、屋内に侵入する熱エネルギー量を減少させる...という宇宙航空分野の技術を応用した特殊塗料だ。

既築住宅に遮熱性断熱性を加えることができるだけでなく、結露の抑制や騒音の軽減、外壁の耐久性向上などのメリットも見込めるという。また、太陽が出ていない夜間や雨天曇天下でも効果を発揮することか、安全性にも十分配慮されており、乳幼児がいる家でも大丈夫とのことだ。

「ガイナ」は、正確に施工すれば15~20年にわたる耐久性が認められるという。その実力は折り紙付きだが、問題は施工側の品質だ。外壁のひび割れや塗装の剥落、雨漏りなどを起こすことなく性能を維持するためには、屋根や壁の面積、素材や色、そして立地や気候などの精査が不可欠。高性能な塗料であるがゆえに、下地調整をはじめ精度が問われる部分も多く、技術、知識ともに「熟練の腕」が必要となるわけだ。

こうした事情から、「ガイナ」にはメーカー自身が提携施工店を認定する制度がある。県内ではジャパンテック神奈川が有名だ。多数の施工実績を誇る塗装・防水の専門企業で、「ガイナ」の特性や施工法を専門的に学んだスタッフが直接対応してくれるので、安心して任せられることができる。

施工技術は、下記のように「工程のすべてを公開できる」レベル。顧客からの信頼も厚い施工店なので、暑さ・寒さでお悩みの方は、一度相談してみるとよいだろう。

高気密・高断熱の家でなくても、住まいのエコ性能は「後付け」できる。

ビズスタ注目

現在の全進行案件も、数年後の点検時の様子も、包み隠さずWEBで開示！ここまでできる施工店は珍しい...



屋根・外壁ともに工事保証書を発行してくれるだけでなく、作業の様子を自社サイトで毎日写真付きで完全公開(!)するという情報開示姿勢もスゴい。顧客から感謝の声が舞い込むのも当然だ。



正確に施工を行っても、さまざまな条件によって経年劣化は起こる。ジャパンテック神奈川は、傍から見れば「それはやむを得ないのでは」というレベルの状況変化まで徹底チェック。上の2枚は塗装6年後のサイディング目地の補修の様子だが、自社の(!)過去の仕事に対しても「うっすらと青カビが見える」などWEBで克明に報告する職人精神に脱帽だ。

営業トーク的な飾り文句ではなく、本当に「施工後10年間は向き合う」姿勢。ここまでやるか、というアフターサービスと徹底した情報開示姿勢が表す施工品質に対する揺るぎない自信。